

日	時間	事業名	内容	定員
11月10日(土) 17日(土) 24日(土)	15時00分 ～ 17時00分	子ども広場	「将棋広場」 ～初めての人・少しでも興味を持った人は、気軽に参加してください～ 対 象：おおむね小学1年生～6年生 ※開催日が変更になる場合があります。	なし
11月15日(木)	10時00分 ～ 11時30分	子育てセミナー	「親子体操」～親子で楽しく体を動かそう!～ 講 師：山本尚明氏(体育文化指導協会) 場 所：青少年児童センター体育館 持 物：水筒・タオル・着替え・親子とも体育館シューズ ※定員はありませんが、初めての方は事前に申込が必要です。	なし
11月24日(土)	10時00分 ～ 11時30分	おもしろ教室	「人形劇」～楽しい人形劇を見に来ませんか?～ 講 師：人形劇団「ポップコーン」 内 容：「ぞうさんのさんぽ」(絵本 ぞうさんのさんぽ より) 「しょうじょう寺のためぎばやし」 ※満席の場合は、入場をお断りする場合がございますので、ご了承ください。	なし

サラダボール

ある日の夕暮れ、近くの公園で楽しそうに遊んでいる親子を見ました。幼い子どもが両親に飛びついたり、一人で走り回ったり、その無邪気な姿がとても可愛らしく、私の心はとても癒されました。その純粋で素直な気持ちを大切に、のびのびと育ててくれたらと心から思いました。このように思うのも、私自身、自分の気持ちを抑えながら育ててきたところがあるからかもしれません。

子どもの頃の私は、親に反発心を抱いても、あまり何も言えない自分でした。当時の同級生の友達には、学習塾やピアノ、空手やスイミングなどに通っている子が多く、2つを掛け持ちしている子もいました。私は、特に習い事をしたいわけでもないのに、はっきりと嫌と言うこともできず、親から言われるままに習い事に行きました。すると、今度は私と友達を比

較して、「A君は〇〇ができる。」や「Bさんは〇〇まで進んだ。」と言われました。「私は私なのだから、他の子と比べてほしくない。」と、よく思っていました。

私は、どちらかと言えばおとなしい子どもでした。そのためか、自宅に活発な友達が遊びに来て、親は私がその子と遊ぶことに消極的でした。はっきりと「その子と遊ぶのはやめなさい」とは言われませんでした。なんとなく親の思いを察して、私から「今日は遊ばれへんねん。」と言ったこともありましたが、でも、私は「なんで遊んだらあかのやろう? 遊びたいのになあ。」と思っていました。

子どもの頃に「遊ぶ」ということは、とても大切なことだと思えます。時間を忘れるほど遊びにのめり込み(集中力)、自分たちでルールを作り(創作力)、時にはけんかをして、時には助け合う(コ

ミュニケーション能力)、人間として生きる力が自然と身につくと思うからです。そして、自分が悩んだ時に相談し、苦しい時に寄り添ってくれる友達ができると思えます。子どもの頃と変わらない友達関係は、今の私にとって大切な宝物となっています。

あれから、幾年が過ぎ、おとなになった今では、少しは親の気持ちが理解できるようになりました。習い事のことは、私に少しでも向上してほしい、自立できるようになってほしいとの親の願いだっただけです。また、友達との遊びについては、「その子とは遊びが合わないだろう。」とか「けがをしたら心配。」と思っていたのかもしれませんが、そのように感じるようになった今では、親に対して感謝の気持ちでいっぱいです。

はびきの しんけんけいはつすいしんきょうぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会